



# 西鐵組合新聞

# 団結がんばろう!

# 9月29日(金)、第152回定期大会開催!



9月29日(金)西鉄グランドボデル(福岡市)にて、「第152回定期大会」を開催し、運動の基軸となる「2017年度運動方針」を決定。古賀孝治執行委員長のもと、2017年度の運動をスタートさせた。

また、大会には、再来年の第25回参議院議員選挙で私鉄総連組織の候補としての擁立が決定している「もりやたかし」氏が駆け付け力強く決意を述べるとともに、出席者一人ひとりと固く握手を交わし、支援人を訴えた。



大會には、住請員、中央委員、特別別員、中央委員のほか、来賓や傍聴者など多数が参加。含めて、全体で約2000名が参加。議長団には、溝辺代議員（宇美）、橘田代議員（筑紫秉務）、松尾代議員（国物東日本）の3名が選出された。

冒頭、古賀執行委員長は、「歴史と伝統ある西鉄労組の運動をしっかりと継承していく」と、決意を述べるとともに、もりやたかし氏の必勝に向けて、組合員が「一丸となり闘い抜く」と意思確認をする大会にしたい」と挨拶を述べた。（要旨は中面参照）

続いて、来賓を代表して、私鉄経連・清水中央副執行委員長、連合福岡県連・高島会長、西部ガス労組・精松幹事長による祝辭が述べられた。

争および一般会務に関する報告があり、続いて、「2016年度決算」「2017年度運動方針(案)」「2017年度予算(案)」など各議案について、執行部より提案説明がおこなわれた。代議員からは、「2017年度運動方針(案)」について、マスター社員制度・自動車運転士の拘束時

● 私鉄連総  
● 中央副執行委員長 清水昭男  
● 私鉄連総  
● 交通部局長 森川幸隆  
● 九州地連 執行委員長 鹤田幸弥  
● 九州地連 書記長 板山修治  
● 連合福岡 会長 高島善吾  
● 連合福岡 組織政治局長 植藤英樹  
● 西部ガス労働組合  
○ 中央執行委員長 稲賀一  
○ 九州電力労働組合本部  
○ 執行委員長 林竹男  
福岡県交通運輸産業労働組合協議会  
議長 木村智隆

執行部との間で活発な議論のもと、満場一致で原案どおり審議決定された。また、その他の議案についても、原案どおり承認決定または審議決定された。(質疑応答・決定録は中止参照)



- 私鉄福岡西鉄タクシー労働組合  
執行委員長 福田博之
  - 西鉄高速バス労働組合  
執行委員長 山口修一
  - 西鉄運輸労働組合  
執行委員長 宮崎貞次
  - 西鉄車両技術労働組合  
執行委員長 佐々木創一
  - 西鉄旅行労働組合  
副執行委員長 福井朗文  
執行委員長代行 島 寛史
  - 久留米西鉄タクシーサービス労働組合  
執行委員長代行 島 寛史
  - 柳川西鉄タクシーサービス労働組合  
書記長 稲夫木 英治
  - 西鉄旅館組合  
顧問 笹井範範
  - 顧問弁護士 市川俊作
  - 高退協 会長 松本和己
  - 家族会 中央幹事長 井上洋子
  - ワーク・ライフソポーツ相談室  
室長 鬼木光彌

古賀執行委員長あいさつ  
要旨

佐田前委員長の勇退を受け役員の一部改選をおこない、8月より新執行部体制となつた。佐田前委員長におかれでは、23年間の永きにわたり専従役員として組合の舵取り役の先頭に立ち、様々な観点から組織改革にご尽力いただいた。この間のご労苦に対し、会議員を代表して心から感謝申し上げ、今後ますますのご活躍を期待申し上げる。

【九州北部豪雨について】

さて、7月5日に発生した九州北部豪雨によって、37名の尊い命が失われ、3か月が経過した今もなお行方不明の方がおられる。被災された方々におかれましては未だ日常の生活を取り戻せず、避難生活を余儀なくされている。改めて、お亡くなりになりました。

なつた方々のご冥福をお祈り申し上げる  
とともに、被災された方々に心よりお見舞  
い申し上げる。  
西鉄労組では、被災地の復旧・復興を願  
い、ボランティア派遣活動に取り組み、7  
月20日の第1期から毎週1回、8月まで  
に第7期、以降9月からは会社と共同で  
3期実施し、のべ約265名の組合員の方  
にご協力いただいた。酷暑の中、献身的に  
ご協力いただいた派遣団の皆様に心より  
感謝申し上げるとともに、職場においても  
募金活動に協力いただいたことに重ねて  
感謝と御礼を申し上げる。労働組合の原  
点である助け合い支え合いは、組織的活性  
化にも繋がっていると考えている。現地派  
遣ボランティアについては、会社と共同で  
継続する予定となっているので、引き続き  
のご理解とご協力をお願いしたい。

第二章 中国文化的变与革

## （4月から8月までの 各事業部門の概況について

自動車事業は、熊本地震の影響の反動およびインバウンドの増加などにより、增收となっている。また、8月26日よりBR-T連節バスの出入庫回送の営業化が開始

求実現に向け、我々の代表である私鉄総連、組織内候補「もりやたかし」氏の必勝と、私鉄の議席奪還を果たさなければならぬ。本大会を、組合員が一丸となり堅固な団結のもと、第25回参議院議員選挙を最後まで闘い抜く意思確認をする大会にして。政治・政策活動に対し、一層のご理解とご協力を切にお願いする。

## 主要闘争（17秋闘・18春闘）について



第25回参議院議員選挙  
もりやたかし氏 あいさつ  
私鉄総連組織内候補

A black and white portrait of Toshiyuki Kondo, a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a white shirt. He is holding a microphone in his right hand and appears to be speaking or presenting. The background is a plain, light-colored wall.

昨年の第24回参議院議員選挙においては、佐田前委員長を先頭に職場の組合員会・家族会・グループの皆さん、高退協議員団などの諸先輩方々多くの方々に支えていただき、たことに厚く感謝申し上げる。再び挑戦をすることになった2年後の参議院議員選挙の決意をもって、あいもうとしている。言うまでもなく、私たちの産業は許認可事業である。これは、国、政治、政策などに

私鉄総連組織内候補  
要旨

組織力強化については、特に女性の活動躍進を目的に、3年前に中央委員の資格を有する女性委員を配置した。昨年からは職場における女性会委員の枠を設けるなど、女性の組合活動参画に対する取り組みを進めてきた。まだ十分ではないが、女性目線での意見を聴取し、男女がども

グループ企業内における組合間の連携を図り、情報や知識を共有し、特に集団労使関係の在り方などについて理解を深めていくことは、各企業の存続と直結する重要な取り組みである。

えている。組織強化、拡大の課題に終止符を打つではなく、常に発展途上という認識に立って、一步一歩前進に努めていきたい。

う主張し、交渉重視において取り組む。その背景には、高率でのスト権確立をもつて、交渉にあたる必要がある。組合員の団結力を示すスト権投票の意義を、層理解していただき、職場体制の強化をもって、交渉団と職場組合員が一丸となり闘いたい。

働きやすい職場環境整備の枠組みが構築されつつあるものと認識している。

た。  
「もうやへん、どのよろんな状況下にあ  
も、挑戦なにして私鉄経運はない。頑張  
私はこの言葉を胸に、これから約1ヶ月  
力をかけ、全国の皆さんの職場をまわる  
たいと思う。ぜひとも、職場の皆さんの  
導を賜りたくお願ひ申し上げる。



